



令和7年12月10日
官庁営繕部計画課

公共建築工事積算基準類の改定 ～労務費等の見える化へ～

国土交通省では、鉄筋及び型枠について、労務費等の内訳の把握が可能な積算単価（単位施工単価）を導入するなど、積算基準類の改定を行いました。

本改定内容は、令和8年1月以降に入札手続きを開始する官庁営繕工事に適用します。

1. 今回改定した技術基準一覧

- ・公共建築工事標準単価積算基準
- ・公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編、設備工事編）
- ・公共建築工事見積標準書式（建築工事編、設備工事編）
- ・公共建築工事積算基準等資料

2. 主な改定概要

（1）公共建築工事標準単価積算基準

鉄筋、型枠について、労務費、材料費等の把握が可能な積算単価（単位施工単価）を導入（別紙参照）

（2）公共建築工事内訳書標準書式（建築工事編、設備工事編） 公共建築工事見積標準書式（建築工事編、設備工事編）

労務費、材料費等の内訳の把握が可能となるように、内訳書標準書式等に労務費等の記載欄を追加

（3）公共建築工事積算基準等資料

上記基準類の詳細な運用について追記

3. 普及・促進に向けた今後の取組み

- 本改定内容は、地方整備局等へ通知するとともに、都道府県・政令指定都市へ参考送付します。
- 各種会議や公共建築相談窓口における個別相談対応等、様々な機会を捉えて他の公共発注機関に対し広く情報提供することで、普及・促進を図ります。

※ その他の詳細については、以下の官庁営繕部の HP をご覧ください。
https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

<問い合わせ先>

大臣官房 官庁営繕部 計画課 営繕積算企画調整室

営繕積算高度化対策官 神鳥（内線 23243）

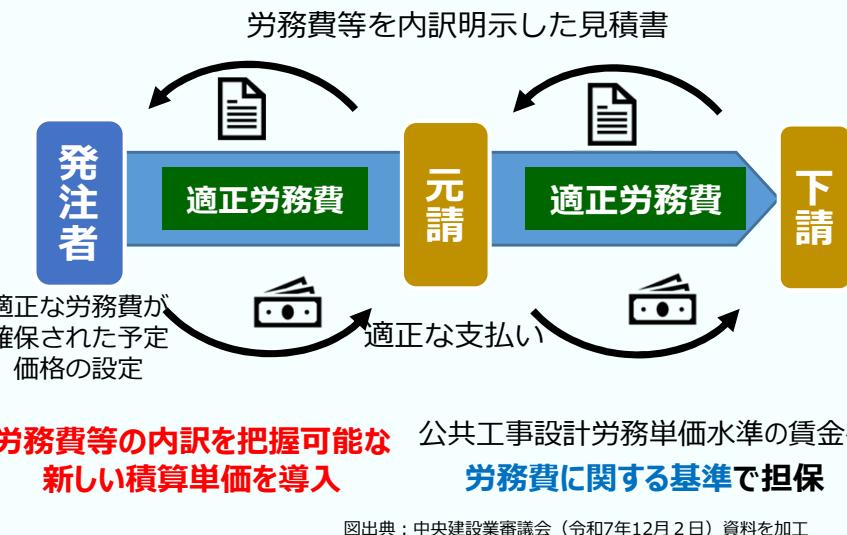
営繕技術専門官 福田（内線 23244）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8236

○第三次・担い手3法に基づき、建設工事の請負契約において、適正な水準の労務費（賃金の原資）を確保することを目的とし、中央建設業審議会より「**労務費に関する基準**」が勧告された。（令和7年12月）

○公共工事の発注者には、民間工事が大半を占める建築工事において実勢価格を的確に把握するために導入された**市場単価（労務費、材料費、機械器具費、下請経費等が一式となった単価）**についても、その内訳把握が求められている。

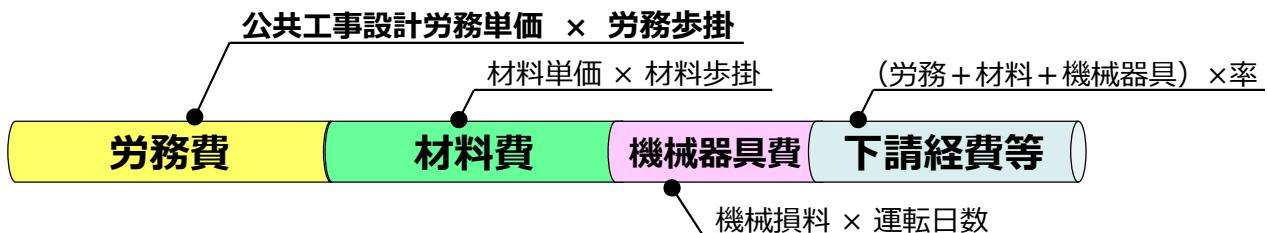
○複合単価と市場取引の調査結果を組み合わせた新しい積算単価「**単位施工労務費等の内訳を把握可能な新しい積算単価を導入**」を導入。労務費等の内訳が把握可能に。



単位施工単価

○代表的な規格・仕様の単価（ベース単価）

- 複合単価（単価×歩掛り）の手法により算定。
- 専門工事業者等の協力を得て、歩掛り調査を実施。



○その他の規格・仕様の単価（シフト単価）

- 元請業者と下請の専門工事業者間の取引の調査結果を活用し、ベース単価を調整して算定。
- その内訳の労務費相当額は、ベース単価の労務比率より算出可能。

歩掛り調査にはデータの収集分析に時間と労力を要する課題があるため、代表的な規格・仕様を対象に実施。
市場取引の調査結果を活用し、さまざまな規格・仕様の単価を整備。

公共工事設計労務単価水準の労務費（賃金の原資）が確保されていることが、発注者にとって明確になる

単位施工単価の「ベース単価」及び「シフト単価」とは

各工種における代表的な規格・仕様の積算単価（ベース単価）は、

複合単価の手法により労務や材料等の各地域の単価と歩掛りから、労務費や材料費等を積み上げて算定。

工種		規格・仕様	単位	札幌	東京	...
型枠	シフト単価	普通合板型枠 基礎部	m ²	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	普通合板型枠 地下軸部 階高5.0m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	ベース単価	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	普通合板型枠 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	打放し合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 B種 階高3.5～4.0m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	打放し合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 C種 階高3.5～4.0m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	打放し合板型枠 壁式構造 地上軸部 B種 階高2.8m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...
	シフト単価	打放し合板型枠 壁式構造 地上軸部 C種 階高2.8m程度	〃	YYYYY	YYYYY	...

その他の規格・仕様の単価（シフト単価）は、

元請業者と下請の専門工事業者間の取引についての調査結果に基づき、
ベース単価を調整して算定。

シフト単価は「物価資料」の掲載価格によることを基本。

【算定式】

$$\text{シフト単価} = \text{ベース単価} \times \frac{\text{シフト単価の細目工種の取引調査結果に基づく単位施工当たりの価格}}{\text{ベース単価の細目工種の取引調査結果に基づく単位施工当たりの価格}}$$

（参考）物価資料にはベース単価についても価格を掲載

単位施工単価を導入する工種

令和7年12月、鉄筋（ガス圧接含む）、型枠について、公共建築工事標準単価積算基準に単位施工単価を導入。

他の市場単価の工種についても、単位施工単価の導入に向けて、順次、調査・分析中。

「単位施工単価」 鉄筋・ガス圧接

鉄 筋

○細目工種と単価の種別

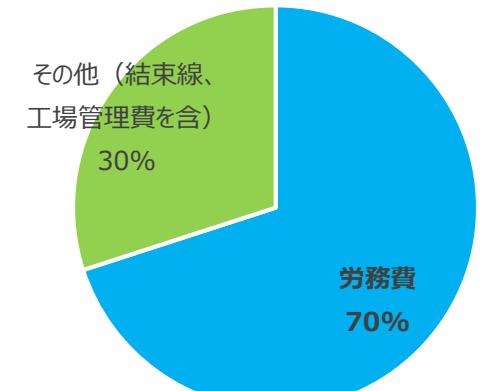
種別	細 目	摘 要	単 位
ベース 単価	鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t
シフト 単価	鉄筋加工組立	SRCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t
シフト 単価	鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	t
シフト 単価	スパイラル筋取付		t

○ベース単価の歩掛り

鉄筋（主材）については、別途計上する。

鉄筋加工・組立 (RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度) (1 t 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
鉄筋工		人	1.88(0.5)	
普通作業員		人	0.38(0.21)	
結束線	#21	kg	3.6	
工場管理費		式	1	(労) × (30～50%)
その他		式	1	

(注) 1. 鉄筋工及び普通作業員の歩掛りの括弧内は工場加工相当分を示す。
 2. 「工場管理費」の率対象は、鉄筋工（工場加工相当分）及び普通作業員（工場加工相当分）とする。
 3. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員、結束線及び工場管理費とする。



(参考) 労務費等の構成比

(注)ベース単価の細目について、R7年10月時点の単価（東京）を用い算出したもの

ガス圧接

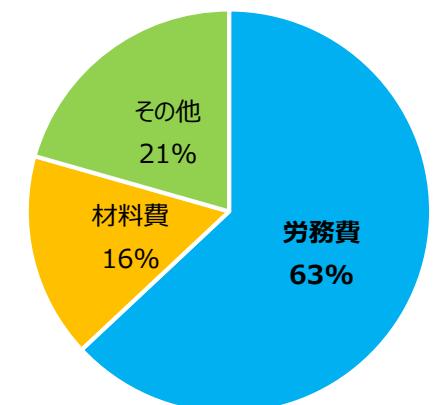
○細目工種と単価の種別

種別	細 目	摘 要	単 位
シフト単価	ガス圧接	D 1 9 – D 1 9	か所
シフト単価	ガス圧接	D 2 2 – D 2 2	か所
ベース 単価	ガス圧接	D 2 5 – D 2 5	か所
シフト単価	ガス圧接	D 2 9 – D 2 9	か所
シフト単価	ガス圧接	D 3 2 – D 3 2	か所
シフト単価	ガス圧接	D 1 9 – D 2 2	か所
シフト単価	ガス圧接	D 2 2 – D 2 5	か所
シフト単価	ガス圧接	D 2 5 – D 2 9	か所
シフト単価	ガス圧接	D 2 9 – D 3 2	か所

○ベース単価の歩掛り

ガス圧接 (D 2 5 – D 2 5) (1 か所当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
溶接工		人	0.013	
普通作業員		人	0.004	
酸素		m ³	0.04	
アセチレン		kg	0.06	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、溶接工、普通作業員、酸素及びアセチレンとする。



(参考) 労務費等の構成比

(注)ベース単価の細目について、R7年10月時点の単価（東京）を用い算出したもの

「単位施工単価」型枠

型 枠

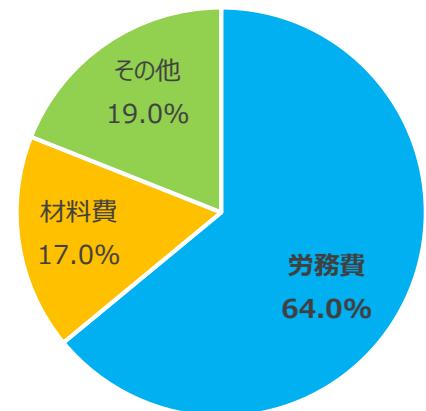
○細目工種と単価の種別

種別	細目	摘要	単位
シフト 単価	普通合板 型枠	基礎部	m ²
シフト 単価	普通合板 型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m ²
シフト 単価	普通合板 型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	m ²
ベース 単価	普通合板 型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5~4.0m程度	m ²
シフト 単価	打放し合板 型枠	ラーメン構造 地上軸部 B種 階高3.5~4.0m程度	m ²
シフト 単価	打放し合板 型枠	ラーメン構造 地上軸部 C種 階高3.5~4.0m程度	m ²
シフト 単価	普通合板 型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	m ²
シフト 単価	打放し合板 型枠	壁式構造 地上軸部 B種 階高2.8m程度	m ²
シフト 単価	打放し合板 型枠	壁式構造 地上軸部 C種 階高2.8m程度	m ²

○ベース単価の歩掛り

普通合板型枠 (ラーメン構造 地上軸部 階高3.5~4.0m程度) (1m ² 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
合板 (表面加工品)	型枠用 900×1,800×12t	m ²	1.08	25%
型わく工		人	0.15	
普通作業員		人	0.02	
補助材 (構成材)		式	1	(労+材) ×20%
その他		式	1	

(注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。
 2. コンクリート打設時の型枠点検及び保守を含む。
 3. 補助材には、せき板、緊張材、支保材（補助サポート含）、はく離剤、簡易な目地棒（水切り目地等）・面木（打放し）を含む（目地棒（化粧目地、打継目地、誘発目地）、大面木は含まない）。
 4. 「その他」の率対象は、合板、型わく工、普通作業員及び補助材（構成材）とする。
 5. 歩掛には工場加工及び現場加工並びに現場施工を含んでいる。



(参考) 労務費等の構成比

(注)ベース単価の細目について、R7年10月時点の
単価（東京）を用い算出したもの